

# 令和2年度第1回日田市総合教育会議会議録

開催年月日	令和3年3月22日(月)																
開催日時	午前10時00分																
開催場所	別館3階 大会議室																
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>日田市長</td> <td>原田 啓介</td> <td>教育長</td> <td>三笥 眞治郎</td> </tr> <tr> <td>職務代理者</td> <td>岡部 博昭</td> <td>委員</td> <td>永山 眞江</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>諫本 憲司</td> <td>委員</td> <td>木下 靖郎</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>奥平 和子</td> <td>委員</td> <td>古田 嘉寿美</td> </tr> </table>	日田市長	原田 啓介	教育長	三笥 眞治郎	職務代理者	岡部 博昭	委員	永山 眞江	委員	諫本 憲司	委員	木下 靖郎	委員	奥平 和子	委員	古田 嘉寿美
日田市長	原田 啓介	教育長	三笥 眞治郎														
職務代理者	岡部 博昭	委員	永山 眞江														
委員	諫本 憲司	委員	木下 靖郎														
委員	奥平 和子	委員	古田 嘉寿美														
事務局職員	<table border="0"> <tr> <td>企画振興部長</td> <td>教育次長</td> </tr> <tr> <td>地方創生推進課長</td> <td>教育総務課長</td> </tr> <tr> <td>地方創生推進課主幹(総括)</td> <td>学校教育課長</td> </tr> <tr> <td>教育総務課主幹(総括)</td> <td>学校教育課職員</td> </tr> </table>	企画振興部長	教育次長	地方創生推進課長	教育総務課長	地方創生推進課主幹(総括)	学校教育課長	教育総務課主幹(総括)	学校教育課職員								
企画振興部長	教育次長																
地方創生推進課長	教育総務課長																
地方創生推進課主幹(総括)	学校教育課長																
教育総務課主幹(総括)	学校教育課職員																
議題	<p>(1) ICTを活用した「学び」の基本方針について</p> <p>①日田市版ICTを活用した「学び」の基本方針について</p> <p>②タブレットを使用した授業体験</p> <p>(2) 小学校高学年教科担任制について</p> <p>(3) その他</p>																

事務局	<p>只今から令和2年度第1回日田市総合教育会議を開会いたします。初めに、開会に当たりまして、原田市長が御挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日のこの総合教育会議の大きな目的が、今春からタブレットを利用したICT教育ということにこの国が大きく移行していくということでございます。当然日田市におきましても、タブレットというツールを活用した新しい教育環境の整備ということでこれからスタートしていくわけでございます。</p> <p>このデジタル化の大きなきっかけは、昨年から始まった新型コロナウイルス感染症ということの中で一気に進んでしまったということで、なかなか準備も出来ない中で、本当に見切りでスタートしていくような感もあります。</p> <p>役所にしてもそうですが、自治体DXという話の中で、どうやってデジタル化していくかということも大きな課題で、今年度新たに組み込んでいくことにもなっております。</p> <p>社会が大きく変化する中で、まず何よりも、この国を建てていく中で、教育というものがしっかり建たなければならない。その部分に、全くこれまでと違う環境で、新しいツールを使った学び方というものが反映されていくということでございます。</p> <p>今日はこのICT機器を学びのツールとして、どうやって活用していくかということについての基本的な方針などについて、意見交換をということでございますので、ぜひ皆さん方にも、屈託のない御意見をお聞かせいただければと思います。</p>
事務局	<p>続きまして、三笥教育長から御挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	<p>それでは教育委員会を代表しまして、一言御挨拶申し上げます。</p> <p>まず、原田市長におかれましては、ご多用の中、本日、このように総合教育会議を開催いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃より教育行政に御理解と御支援をいただいておりますことに対し、心より感謝を申し上げます。</p> <p>御案内のとおり本年度、新型コロナウイルス感染症の拡大で、長期にわたる臨時休業をはじめ、教育施設の休館であるとか、行事の中止縮小、あるいは新しい生活様式への対応など、教育行政においても非常に難しい運営を迫られた1年でございます。</p> <p>こういう先行き不透明な、予測困難な時代の中であってこそ、日田市教育大綱の中で掲げております未来を切り開き、ふるさとを愛する人づくりを基本理念のもとに、子供たちが夢と誇りを持って、</p>

	<p>未来をたくましく生きていく力を育てる学校教育の推進というものが一層重要であると考えているところでございます。</p> <p>昨年の会議のテーマの一つに、持続可能な開発目標、いわゆるSDGsの達成に向けたESD教育と、コミュニティスクールの推進をテーマとさせていただきましたが、本日のテーマでございます、ICTを活用した学び、情報活用能力の育成につきましても、持続可能な日田市の発展に向けて、諸課題の解決を図り、新しい時代の担い手としての資質能力の基礎となるものであると認識をしているところでございます。</p> <p>それから、大分県では既に取組が始まっております小学校高学年の教科担任制につきましても、令和4年度からの本格導入に向けた取組状況について御報告を申し上げたいと考えております。</p> <p>限られた時間でございますけれども、私ども教育委員会と市長との意見交換を通しまして、学校教育の質の向上に向けたICTの活用等について、方向性の共有を図ってまいりたいと考えております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは協議事項に入らせていただきます。</p> <p>市長の進行で進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>まず議題の1番、ICTを活用した学びの基本方針について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>それでは私から、ICTを活用した学びの基本方針等について説明をさせていただきます。</p> <p>資料の1ページをお開きください。</p> <p>基本方針策定の背景につきましては、令和の日本型教育の実現というのが1番の根幹になります。</p> <p>そもそも、この日本型教育というのは、中教審によりますと学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子どもたちの知徳体を一体で育む、こういった日本型教育は諸外国から高い評価を得ております。</p> <p>県教委の学力向上検証会議や市教委の点検評価の外部評価員である先生も、日本の教育で一番諸外国と違うのが、「切らない教育」というふうに言われておりました。例えば勉強が分からなくても、そこで切るのではなくて分かるまで個別で教えてあげるといったことです。</p>

それから、生活上、苦しくなったら、福祉に任せっきりにするのではなくて、福祉機関と連携を取りながらでも、学校の担任を中心として関わりを持ち続けて何とかしていく。

また、生徒指導上で非常に問題があれば、例えば警察とか児相に預けるわけではなく、もちろん連携はするけれども最終責任は学校が担っていくといったことで、いわゆる「切らない教育」というのは、非常に日本型教育の文化ではなかろうかということをおっしゃっていました。

そのような面で考えたときに、特に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、全国的に学校の臨時休業措置が取られたことによって、改めて認識された学校の役割が三つあります。

学習機会と学力の保障、全人的な発達成長の保障、それから、身体的・精神的な健康の保障というふうに、まさにこれまでの日本型教育が改めて見直されたということでもあります。

そこで、令和の日本型教育になりますが、記載のような課題があります。これを、これまでの日本型教育に加えて、学習指導の着実な実施と、それにICTを活用して、全ての子供たちの可能性を引き出す二つのキーワードで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現ということに舵を切っていくということでございます。

2ページをお願いします。

この令和日本型教育を実現するために、文科省が四つ柱を置いております。

一つが自立・協働・創造と言われるような教育振興基本計画の理念を継承すること。新学習指導要領の着実な実施、そして、学校における働き方改革の推進、そういう中の一つに、2ページにありますように、GIGAスクール構想の実現ということが示されております。

これまでは、言語能力のみでしたが、今後は、情報活用能力も学習の基盤となる資質能力に位置付けて、様々な取組を進めていくということでございます。

3ページをお願いします。

特に、2月末までに配備が終わりました、市内小・中学校児童生徒1人1台端末の活用につきまして、学びがどう変わるのかということで、一斉学習の場面、個別学習の場面、協働学習の場面で、このように変わると示されております。

一例を申し上げますと、一斉学習では、これまでは教員が黒板に書いて「みんなどう思う」と言って発表したことについては意見がもらえるけれども、今回の場合は1人1台持っていますから、自分の考えを先生に送ってという形で、全部の子どもの考えが返ってく

ると。それをみんなに示したりとか、例えばこれまでだったら、自信がなくて発表出来なかった子どもの意見を取り上げて紹介して、その子に自信を持たせるといった、いろんなことが双方向でできるということになっております。

それから協働学習の場面では、全ての子どもが情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられるということです。

よく読解力と言われますが、これまでの読解力はどちらかと言えば読み解く力という言い方で、例えば問題を読み解くとか、問われていることを読み解く、それから課題を読み解くということまで止まっていたんですが、これから先のPISAといった国際標準の読解力には「読む力」と「解く力」に分かれていると言われております。「読む力」というのは、今までの読解力の概念で、「解く力」というのは情報発信というふうに言われております。

この情報発信、アウトプットの力というのは、1人1台端末で非常に有効に働くと言われております。ですからこれまでの読解力は、どちらかというインプットの読解力だったんですが、これから求められるのは、情報発信というアウトプットの力というような転換の上でも、タブレット端末を1人1台持った学びというのは、加速していくことになろうかと思っております。

4ページをご覧ください。

ABCで示されております、今後求められる資質能力に沿って、具体的な能力を示しております。

5ページをお願いします。

これらを受けて、本市としましては、①から⑤に示されるような、基本方針を推進するための5つの基本項目を定めました。

これに基づいて、6ページをご覧ください。

日田市版基本方針の概要を示しております。ICTを活用した学びの基本方針ということで、具体的には白抜きの四角の中に示しております①から⑤までを、基本項目として定めております。

再度5ページにお戻りください。

この①から⑤が今申し上げたところに位置付けられるということです。ただし④の感染症や災害時の発生における学びというのは、6ページに戻っていただいて、1番下の災害発生時等としております。本市においては、もちろん感染症は重要ですが、これまでの歴史を考えたときに災害発生ということも含めて、感染症も災害の一つとして、災害発生時等というような位置付けにしているところがございます。

中央に示しておりますが、1人1台端末の利用により、付けさせる力として三つを挙げております。

<p>事務局</p> <p>市長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>7ページをお願いします。</p> <p>これは、求められる資質・能力の三つの柱を示しておりまして、これにICTの積極的な活用により効果的、効率的なことが期待できるということになっております。</p> <p>8ページ、9ページをご覧ください。</p> <p>では具体的に、どの教科でどんな学習になるのかということの1例を示しているところがございます。こういったところを4月以降、授業実践を進めていくということになっております。</p> <p>この後、実際に体験をしていただきますので、具体的な体験のもとで御理解いただければと思います。</p> <p>10ページをお願いいたします。</p> <p>これらの教育環境を整備するための計画を、10ページに示しておりますので、参考にしていただければと思います。</p> <p>それでは実際に、これから小学校の算数、社会の授業を想定したタブレットの使用体験を行いたいと思います。</p> <p>いわゆる、新しい学習指導要領では、これまでの学習指導でもそうですが、実感を伴った理解ということで、体得の理解、習得の理解、納得の理解の三つに基づいた実感を伴った理解というようなキーワードになりますので、今日は体得を中心に理解を進めていただければというふうに思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>説明については以上でございます。</p> <p><b>【タブレット使用体験】</b></p> <p>ただいま体験と、説明をさせていただきましたが、ご質問等があればお願いします。</p> <p>これは、全教科こういうふうに全部先生が作っていくわけですか。先生が作り込んで持ち込むのですか。例えば学年ごとで、このソフトを作るのは先生それぞれですか。それとも、ある程度専門的に誰々先生が作っていくということになるのですか。</p> <p>まず校内であれば分担はあると思います。ただ、各教科部会が小学校もありますから、その教科の中で分担したりということもあり得ると思います。あとは販売している教材を使うといったことも考えられます。</p> <p>可能なものを入れてみんなで使っていくというような形になるのかと思います。だから、個人が個人のをそれぞれが作るというシステムにはならないと思います。</p>
------------------------------------	--

<p>市 長</p>	<p>ただ、どうしてもこだわって作りたい人はいるでしょうが、作成したものでみんなに周知できるものであれば、可能な限り、皆さんに情報提供していただくというふうに考えています。</p>
<p>学校 教育 課 長</p>	<p>市販のものを使う部分と、学校ごとに作る分、それと、日田市の教育委員会全体として使うという、大体三つぐらいは考えられているのですか。</p> <p>例えば学校単位になると、得意な先生がいたとして、この学校とそうではない学校と差が出るのではないですか。</p>
<p>市 長</p>	<p>日田市はシンクライアントシステムというのを持っていて、全部の学校からアクセスできるシステムになっておりまして、その学校で必要なものをそこまら取り出して使っていただくということになります。</p> <p>その情報を回すのがICT支援員で、各学校を回って、例えば〇〇小学校でこんなのが出来ましたよ、使ってみたらどうですかというような指導をして、なるべく平準化するようには考えています。</p>
<p>学校 教育 課 長</p>	<p>著作権は発生しないのですか。個人の権利とか出てきたり。</p> <p>それについては、当然知恵を出しながらやりますが、一つは国からは、教育用のソフトについては、個別に著作権料を払うわけではなく、児童生徒数に応じて、小学生1人当たり120円とか、中学生が180円ということで、予め著作権料を払って、権利に抵触しないような形を示しておりますので、そういったことも含めて利用していきたいと思います。安心して先生方が使えるような環境を整備していきます。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>先程の授業体験で、問題を出されて、みんながいろんな答え方をしたよねっていうのがプロジェクターで写されて、でも、そこについていけない、答えを出せなかった子、時間内に出来なかった子というのは、データで残っていくのだろうと思うんですけど、その部分をフォローするためには、先生は後でそのデータを見直して、出来なかった子について調べる作業をして、そして個別のフォローの時間を取らなければ、やはりフォローには至らないわけですね。</p>
<p>学校 教育 課 長</p>	<p>例えば、理解度を把握するためには、最後に終末の課題を与えて、今まででしたらほぼ同じ問題を全員に配っていたんですが、例えばABCぐらいの難易度で、理解の厳しい子については、Cの問題をあげ</p>

	<p>たり、これまでも宿題を出して回収して、出来ていないなら必要に応じて個別に放課後に指導ということはやってきたので、その把握が早くなると考えます。与えっぱなしで終わるのではなくて、双方向になりますから、出来ていない、理解が出来ていない子が、瞬時に何人か、誰かというのが分かるものですから、今まででしたら家に持って帰って、持ってきて、そこで何とかってということではなくなるので、そこも含めて先ほど申し上げた「切らない教育」が日本型の教育になりますので、そういうことは当然、手当てをしていきたいと思えます。</p>
<p>岡部教育長職務 代 理 者</p>	<p>タブレットで試験、テストができるようになるんですか。 全てをタブレットで行うようなことになるのでしょうか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>全てICTで完結するということにはならないと思います。目指すべき本質があるからですね。ICT機器の活用をあくまで効果的・効率的にするものでありますので、それで全てを解決することはないと、やはり紙で把握する必要がある場合は紙でします。</p> <p>ただ、場合によっては、紙を印刷して配るよりは、問題を一斉に与えて、この時間ではこれを解いて評価問題にするとかいうことは、当然あると思います。</p> <p>それから、いずれ全国学力調査等については、タブレットで答えられるようにということを目指しておりますので、その併用になっていくかなというふうに思っています。</p>
<p>古 田 委 員</p>	<p>今、全国的に理科が弱いというか、日田市の子供たちもそうなんですけど、理科が少し弱くなってきてるのも、やはり実験等に費やす時間を考えれば、タブレットでぱっと見たほうが授業は早くなったりするのかなと思ったりもするのですが、それはどうですか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>いわゆる教科書に載っているような実験は、先ほど申し上げた「体得の理解、習得の理解、納得の理解」ですれば、やはり体得してやる必要があります。</p> <p>ただ、普通の実験室では材料的にも厳しいとか、危険度が増すとかいうこと、それから小学校の先生は理科の専門ではないので、そういったところは、場合によってはディスプレイで見せて、映像で理解していくというような活用はあると思いますが、基本的には教科書にあるような実験については実際にやるということが基本だと思います。</p>

市 長	<p>なかなかリアリティのところ厳しいでしょうね。</p> <p>体で覚えたりとか、臭いだったり、痛さだったり、暑さだったりとかいうものはどこで補完していくのですか。</p> <p>今回のタブレットはこれとして、全体としては。</p>
教育総務課長	<p>あくまでタブレットが全てではありませんので、実際に体感すべきことは尊重しつつ、効率性という部分で教員の働き方改革もありますので、共有できるものは共有していこうということで、各学校ごとにもサーバーを持ちながら、シンクラ等も活用してやると。</p> <p>ただ、あくまでも五感という大事な部分が、現場での一番の課題になってくるのかなというふうに思っています。</p>
市 長	<p>ほかにも五感で感じるものがありますよね。だけど学校で10エネルギーがかかっていたら、ICTの活用で7ぐらいになれば、3ぐらいまだ余力あるはずだから、逆にそういうところで感性だったりの部分を補完していく時間をうまく作ったりとか、それは学校教育現場だけなのか、教育現場の外にも求めるのかとかいうことも考えたほうがいいのではないかと思います。</p>
学校教育課長	<p>タブレットの活用は、今後学校外に持ち出すところまで想定できれば、いわゆる実感というのは、小学校低学年の生活科でいえば、「秋見つけ」とか「春見つけ」などがあります。</p> <p>それを映像だけではなくて、使い方としては、例えば公園に行っ、自分が興味のある植物や虫を撮影して、持って帰って、みんなでこんなのがいたというような使い方になると思います。</p> <p>「春にはこんな花が咲くんだよ」などという活用もできると思うんですが、実際その場で体感したことの記録のツールといった形では使っていこうと思います。</p>
岡部教育長 職務代理者	<p>新しい先生方に入ってきてから研修するのではなくて、大学時代にそういったことは当然勉強するということになるんですよ。</p>
学校教育課長	<p>大学でのカリキュラムは承知しておりませんが、基本的には1人1台タブレットは全県下共通ですので、その中で準備をしながら、人事異動の中では行っていると認識しています。</p> <p>ただ、日田オリジナルの教材に出会うわけですから、それについては、今いらっしゃる先生と一緒に教えながらやっていくことになるのかと思います。</p>

岡 部 教 育 長 職 務 代 理 者	採用試験でICTの関係が入ってくることも有り得るわけですかね。
学 校 教 育 課 長	<p>教育学部に限って言えば、教育実習等では当然、現場に行けばタブレットを使ってる状況の中で授業を実施することになりますので、そういう体験はかなり増えてくると思います。</p> <p>あとは県の教育センター等で県共通の教材の提示もありますし、そういった全県下の平準化については、今後機会を捉えて、こういった意見が総合教育会議等で出されたので、ぜひ研修機能や教員になる前の現場の実態をしっかりつかんでいただいて、何が必要かということをカリキュラムに入れていただくとかいったことはお願いしていこうと思います。</p>
市 長	<p>大体よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、基本方針については、以上で終わらせていただきまして、今後、小学校高学年の教科担任制というのが始まるということがあります。</p> <p>この件について、事務局のほうから説明をお願いします。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>資料の11ページをお願いします。</p> <p>小学校高学年の教科担任制について、国の動き、県の動き、そして現在当市でどのような動きになっているか、今後どのような体制をしくかということについて説明をさせていただきます。</p> <p>国の動きですが、国については、平成28年の12月に、既に小学校高学年での専門的な指導の充実や、学級担任制と一部教科担任制を増やした指導の必要性が示されており、これらを受けて、本年1月の中教審によって、令和4年度を目途に導入することが明記されました。</p> <p>具体的には、外国語・理科・算数といった教科が示されたり、学校規模、地理的条件、これも日田市も当然当てはまりますが、一律的なものではなくて、実態に応じた指導体制の在り方、それから中学校との連携の促進等が示されています。</p> <p>既に28年度の12月の国の方針を受けて、市内小学校の一部、これは県教委の配置になりますが、英語専科教員が配置されています。平成30年度が1名、令和元年度が2名です。そして、令和3年度から3名体制ということで充実させることにしております。</p> <p>この国の動きによって、県については、令和元年度から具体的な独自の取組を開始しています。</p> <p>①から④を示しておりますが、①は完全教科担任制、いわゆる中学</p>

校とか高校の形です。しかし、これは人的配置がない以上は絶対無理ですので、これは現実的ではありません。

②は、特定の教科、特に今は体育専科教員とか音楽の専科教員ということがあります。これは日田市内でも、多くの小学校で導入をしているところでは、

それから③については、TP指導ですのでこれも可能な限りやっています。

今回示すのが④の赤囲み、学級担任間の交換授業ということで、今回は高学年のキーワード、それから、県教委は今年度までは教科は余り指定しなかったんですが、来年度からは国語、社会、算数、理科、外国語を中心に教科担任制をしいてくださいということで、令和4年度に向けて準備を進めるようにということになっております。

制度の導入で期待される効果としては、一番下の①から③に示すような、複数の効果が期待されているところでは、

では、実際のカリキュラムがどうなってるかについては12ページです。

まず、小学校高学年教科担任制の例ですが、例1です。5、6年生の計2学級、つまり5年が1学級、6年が1学級の2学級、日田市の高学年でいえば、18小学校中11小学校がこれに当たります。

まず、この交換授業の基本というのは、交換する教科の週当たりの時数が同じでなければなりません。具体的には、記載に担任A教員、B教員とあります。5年生の担任がAさんとしたときには、6年の算数を5時間持ちます。Bさんは、6年生の担任ですが5、6年生の国語を持ちます。このときに、算数と国語は週当たり5時間ですから簡単に入替えや交換ができます。

併せて、理科・社会も交換しようということで、右側にありますが、このときも理科が週当たり3時間、社会が3時間なので、単純に交換しやすいと。これが例えば、音楽や体育とかになると、音楽は1時間、体育は2時間なので、その1時間分をどう埋めるかということになってかなり複雑になるので、基本的には週の授業時間数が同じものを入れ替えるというのが現実的だと思います。

これによって、例えばAさんもBさんも9教科教えるべきところが、2教科減って7教科ということで、子供にとっては専門性の高い指導を受けられる、教員については、いわゆる教材研究の教科数が減るということで負担軽減になります。

ただ、理科でも2学年ありますから、国語・算数ともに各年度はすることは変わらないので、極端に2教科も減るかということ、そうではないんですが、まさにこういった時にタブレットを使って、必要な教材は算数なら算数を2学年作ったほうが効率的であるとか、そう

いったことは言えると思います。

次に右側です。5、6年が合計4学級、つまり5年生が2クラス、6年生が2クラスですので、4人担任がいます。

これを今やっているのは、県の加配が1人付いている、三芳小とか、三和小で、つまり5人教員がいます。

そうすると、国語、算数、社会、理科、英語の5教科を、この5人で受け持つというのが基本的なイメージになります。ただ授業時数が違うので単純にいかないのですが、イメージ的にはこういうような持ち方があります。

では、日田市ではどうかということが13ページにあります。

令和2年度は、三芳小、三和小に1人ずつ加配教員をいただいています。例えば三芳小においては、2学年4学級、5の1、5の2、6の1、6の2の算数を教科担任制の推進教員が受け持ちます。

それから、三芳小には、英語専科教員を配置していますので、この人が5、6年の英語の担当をします。そうすると、算数のところは4つとも推進と記載しています。左側の表の算数を縦向きに、この推進教員が全部貫きます。それから右側の外国語が専科とあります。これも全部貫きます。あとは、同学年で1組の担任が教科を入れ替える

と。  
例えば5年生でいうと、5年生1組の担任の先生がA先生です。太字で理科のところにAと、体育のところにAがあります。この人が1・2組の理科、体育をやって、Bの先生が社会、図工を受け持つということになります。比べると、担当教科数が減ってくるというような形でやっています。

三和小についても、考え方としては専科教員が2学年とも貫いて持って、あとは担任同士の交換というようなことでやっているのが現状です。

それ以外にも、下に示す6校が高学年の教科担任制に既に取り組んでいます。左側の咸宜小、桂林小、光岡小、これについては、複数クラス以上ありますので、同学年の学級担任がいろんな教科を入替えて交換してもって受持ち教科数を減らすということです。

右側の朝日小、大明小、東溪小は、日田のほとんどのスタンダードの単学級、5年が1クラス、6年が1クラス、ここは5年と6年の担任が教科を交換してやっているということです。

これは絶対にこの教科でやるということではありません。その年度の得意な教員が配置されることによって、今年はこの教科とこの教科でやりましょうというようなことになりますので、これで固定するというものではありません。

やはり教員の特性と、子供の実態とを合わせて、その学校で1番効

	<p>果的な教科担任制はどうだろうかということやっていくというふう に捉えていただいたほうがいいと思います。</p> <p>一般的には、国語、算数の主要教科は担任が持ちたいということも ありまして、単学年の場合は、基本的には国語、算数は担任が持って それ以外の教科を交換して、効率化していこうというような動きが1 番多いです。</p> <p>14ページです。国のほうから、令和4年度からの本格導入に向け て準備を進めるようにということですので、令和2年度については先 ほど説明したとおりです。</p> <p>来年度については、教科担任制推進校で公開授業をして、具体的 な持ち方についての参考とします。</p> <p>ただこの時も、2クラスあって1人の配置に対しての教科担任制の デモンストレーションですから、ほとんどの学校は先ほどの11校は 単学級ですので、当てはめることは出来ないで、うちの学校ではど うするかという議論の場というふうに、授業を公開することは、見る のが目的ではなくて、システムについてのいろんな協議をする場とし て位置付けてやります。</p> <p>それとは別に、小学校で各教科教育課程研が年4回ありますので、 そこで総則部会、いわゆる教務主任とか主幹教諭が入っているんです が、そこで、今度はグループ別に、例えば3クラスある場合、それか ら、2クラスずつある場合、それから、単学級ずつとかいうグループ に分かれて、少し議論を進めているということになります。</p> <p>これを踏まえて日田市の方針としては、国や県より示される方向性 を踏まえて、学校規模や、教師の特性によって、交換のパターンが 様々あることですから、一律にこの教科とこの教科でやるというよ うな縛り的なものではなくて、各学校の実情実態に応じた教科担任制の 推進を図っていくということにしております。以上です。</p>
市 長	<p>事務局から説明がありましたが、御質問なり御意見なりあればお願 いします。</p>
学校 教育 課 長	<p>教科は学校によって違うのですか。先生が揃ってるか揃っていない かとか、その年によっても違ったりするのですか。</p> <p>特に2学級ずつあるところは、ある程度安定して教科を固定するとい うことができると思うのですが、例えば、ベテランと新人が組んだ 場合に、主要教科をベテラン・新人で分けるのか、担任が子どもの実 態を分かりながら授業したほうが効果的であれば、無理に国語・算数 を分けずに、ほかの教科、特に技能教科を中心に分けたりとか、これ 以降は、英語を入れて5教科はやってくださいってことなので、理</p>

	<p>科、社会だけ入替えてとかいうこともあると思います。</p> <p>それから、小学校の先生も卒業するときには卒業研究で、例えば小学校課程に行っても、理科で卒論を書いたりとか、社会で卒論を書いたりとか、複免を持っていますので、その免許教科で交換したりとかいうことはあると思いますので、そのときに応じた形になるかと思えます。</p>
<p>市長</p>	<p>でも大体ここの中のソフトとかコンテンツがベースにあって、プラスのところ個性が出るか出ないかは、ベテランだったり、新人だったりによって違うということですか。その調整は学校長がするのですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>基本的には教育課程の編成権も含めて学校長ですが、幾つかの事例というかパターンは当然こちらが示すことになろうかと思えますので、学校がこういった形でしょうというときに、場合によっては私も教育委員会として、この形のほうが効果的ではないですかというような指導助言というのはできると思えます。</p>
<p>古田委員</p>	<p>この制度はすごくいいと思います。子供を教えることは同じはずなのに、やはり先生によって、子供たちの学力がすごく上がる年があるんですよね。それはやはり先生だと思っていて、ある小学校の体育の専科の先生ですごいやる気のある先生が来て、子どもも体育が特にすごく楽しかったみたいで、担任の先生もその指導を見られて、とても勉強になったという話をされていました。</p> <p>私はすごくいいことだなと思って、どんどん進めてほしいと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>基本的には望ましい方向であるというふうに思いますし、最近、小学校高学年というのは生徒指導上非常に困難な場合があって、単なる学級担任制であると非常に指導が厳しい状況の中で、対応が後手に回ることがあるんですが、教科担任制になると複数の教員が入るものですから、問題点というのは早めに情報共有が出来て手を打つということも出来ます。</p> <p>一方、デメリットとしては、教員の力量によって、例えば指導力の未熟な教員を持って来ざるを得ないということでやったときに、その教科の学力が下がるというのはあり得ます。特に、若い教員がこれから増えてきます。ですから、そこは全体としてマネジメントをしていく必要があるということ、それから、最初から若い教員を教科担任制にしていくと、小学校の担任であったり、教科を指導する力量が付か</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ないまま、ある教科しかしないということになるので、小さい学校では当然、ほとんどの教科を持たざるを得ないとなったときに、全く指導力が上がっていないということがあります。そこは全部をやればいいってことではなくて、ある程度いくつか複数の教科を教えて、特に若い先生が全部の教科が一応指導できるようになった上で、専門性を生かすというようなことを考えていかないと、最終的にちぐはぐな指導になりつつあるので、ここは教育委員会が全体として把握していく必要があるかなというふうに思っています。</p> <p>メリットとデメリットが見え隠れしていると思うんですけど、例えば、新採用の先生がクラスを受け持ってずっと1年間その先生が授業するということよりも、やはり指導力のあるベテランの先生が1教科でも受け持つ。そうすると授業というのは、こういうふうに行っていったんたなっていくことを子どもたちが学習出来ますし、ぴしっとこうした授業をすることで、よりメリットのほうが生きるのかなという思いがあります。</p> <p>先ほど古田委員さんがおっしゃったようなことは、そういうことじゃないかなと思いますので、メリットは最大限生かせるように、これから取り組んでいかなければいけないと思います。</p> <p>ただ、教員も今大量退職時代が続いておりまして、ベテランがどんどん退職して若い教員が増えているということもありますので、そういう指導力をしっかりつけていくというのは大きな課題となっておりますので、これを活用して、指導力をしっかりつけていければというふうに思っているところであります。</p>
<p>市 長</p>	<p>これはタブレットの導入とやはり関係あるのですか。</p> <p>これで底支えをある程度した上で、専門性の高い先生の能力が発揮されるような場所みたいなものがあると、これまで差があったものが、ある程度平準化される。タブレットの活用次第というところもありますか。</p>
<p>学校 教育 課 長</p>	<p>今まででしたら学級担任が行っていたものが、例えば共通のアプリとか教材が共通化されたときに、授業の平準化という点からは、進んでくるんじゃないかなと思います。</p> <p>全くオリジナル、その担任と子どもたちだけのやりとりじゃなくて、使う教材は一緒であれば、その使い方は教員の力量でもあると思うんですが。そこについては、平準化できるようにということで、いわゆる効率化、効果的なツールとして有効活用していきたいと思えます。</p>

市 長	<p>これから実際始まっていくということですので、試行錯誤の中で、1日も早くこのペースをつかんでいただいて、日田市の子供たちの底上げ、また教育の場に生かしていただければというふうに思っています。</p> <p>ほかにないようでしたら、今日の議題はこれで終わりたいと思います。</p> <p>ほかその他、今日の議題以外で何か御意見等あればどうぞ。</p>
諫 本 委 員	<p>タブレットはを取りあえずは学校で管理をしましょうけれども、内容などは自分で家に帰って、スマホとかタブレットとか開いて、一部のアプリは自由に見ようと思えば見られると思いますし、そのうち宿題とかも、データで渡してというようなことも考えられると思うんですね。</p> <p>特に調べ物はもう既に、使える子は使ってやってる状況があるので、日田市の公共施設の中で、子どもたちが勉強できる場所で Wi-Fi の環境は大分増えてきたとは聞いていますが、まだまだ子供たちが行って調べ、高校生も含めて使う所、必要な所はまだ完備されていないような所もあるようですので、出来たらその辺の整備を進めていただければというふうに思います。</p>
教 育 次 長	<p>Wi-Fi 環境でいえば、新年度から淡窓図書館には整備するという事で、予算計上させていただいています。またアオーゼでは既に Wi-Fi を整備していますので、結構夜遅くまで学生さんもそこで勉強しているという実態がございます。</p> <p>パトリアはまだ設置していないので、そこも追々整備しながら、実際あそこでも勉強されてる方はいますので、そういった Wi-Fi の環境は、順次整えながら身近なところで利用できるように進めていきたいと考えております。</p>
市 長	<p>アオーゼは今、子どもたちが勉強できる状況にはなっていますが、今度コロナワクチン接種会場になると、半年や1年使えなくなる。</p> <p>代替として、パトリアの2階の喫茶が今月末にはクローズという話になっているので、そこをそういった場所に開放したいと思っています。あそこはテーブルも全部あるし、広いし、空気も抜けるし、できれば自販機でも何か置いてもらえばそれでいいかなと思ってましたが。</p>
永 山 委 員	<p>図書館も今、せっかく Wi-Fi の環境を整えていただいても、タブレットの持込みとかは想定していないという説明でしたので、キー</p>

<p>教 育 次 長</p>	<p>ボードの音が周りの方が気になるかもしれないとかいう話だったんですけど、こういう機器を使うのが当然の時代が来ているので、2階の部屋では使っていないんだとか、電源の整備とかですね、こういうものがもう学習のツールとして当たり前っていうのを、ぜひ公共施設からしていただけると、家で必ずしも安心して勉強できる子ばかりではないので、ぜひ、図書館もそこは柔軟にしていいただけるとありがたいです。</p> <p>図書館は2階の学習室で Wi-Fi ができますので、タブレットの持込み、パソコンを含めて、持込みは当然そこでやっていいとなっております。4月から Wi-Fi 環境を整えて、5月から使えるというのを案内しながら、今準備を進めています。</p>
<p>岡部教育長職務 代 理 者</p>	<p>今日は問題提起だけでいいんですが、先だっつの県立高校の定員が、3校とも日田高がマイナス23、三隈高がマイナス25、日田林工がマイナス24、二次で補充したと思うんですけど、県立高校の定員というのは中学3年生の子の数から私立高校分の20何%引いて、残りで定員が決まるわけですね。実際は70何人も不足してるということで、中学校の校長先生も定員減にならないのかと心配している。</p> <p>日田は他の地区から移住してくるのは大分県で一番である。だから高等学校も日田市がこんなに移住者があるんですよということでキャリア教育も盛んになってきた。ところが、別のところでは中学生がどっと出ていくと。出て行く方は自由で止めることはできないですけど、誰がどこを受けようと。けれど、そのままじっと見ていていいのか、どこかで何か、調整役というか何かそういう組織が必要ないのかなあという気がするんですね。</p> <p>個人の自由というのはどうしようもないですけど、どこかで日田市として考えないといけないのではないかなという気はするんです。今日は問題提起だけで終わります。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>今、委員のおっしゃったことは、確かに非常に危惧してまして、まず今年の現象で言えば、コロナの関係で皆さん早く決めたいということで、県立の受験まで待って結局、コロナにかかったら受けられないといったことが影響して私立に流れたのかということ、必ずしもそうではない状況があります。</p> <p>全県下で見ても、大分、別府以外は、やはり同じような状況ということで、その辺りの分析を日田市の指導部会にも意見交換を求めようと思いますが、県全体でもそういう状況ですので、これは今年だけの特別なことなのかどうかというのは、今、分析をしているところです。</p>

<p>岡部教育長職務 代 理 者</p>	<p>けど、県下的に同じような危惧をしている市町村教委はあると思います。</p> <p>定員に対して大分上野はプラス100なんですね。舞鶴はプラス132、豊府はプラス69、大分西はプラス98と。周辺部は本当に少ない。日田なんかは特に少ないですよ。だからどこかで何か組織を作るか何か、ある程度のことを考えたほうがいいんじゃないかという気がするわけです。以上です。</p>
<p>市 長</p>	<p>ではこれで、本日の協議事項については終わらせていただきたいと思えます。</p> <p>教育委員会の皆様はこれから4月から全く新しい動きになるということで、大変でしょうけど、頑張って対応してください。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>それでは以上をもちまして、会議のほうを閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時間 午前11時30分</p>